

## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 SREホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2980 URL <https://sre-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 和良  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO兼コーポレート (氏名) 益子 治 TEL 03-6274-6550  
 本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,040	—	123	—	125	—	61	—
2020年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 61百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.06	3.91
2020年3月期第1四半期	—	—

(注) 2020年3月期第1四半期は、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の数値及び、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,093	7,171	78.7
2020年3月期	8,054	7,090	88.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,156百万円 2020年3月期 7,085百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,400	72.7	200	△22.9	204	△22.3	113	△32.6	7.47
通期	5,936	54.2	831	11.4	781	9.0	491	3.8	32.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日（2020年7月30日）付で別途開示しております「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	15,167,702株	2020年3月期	15,138,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	－株	2020年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	15,147,389株	2020年3月期1Q	－株

(注) 2020年3月期第1四半期は、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の「期中平均株式数（四半期累計）」については記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、本日（2020年7月30日）付で別途開示しております「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2020年3月期においては第1四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期比については記載しておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛要請や、営業自粛要請により、極めて厳しい状況にありました。足元では、緊急事態宣言解除後の感染者増加など先行き不透明な要因がありながらも、経済活動に再開の動きがみられます。

このような状況の中、当社グループは、「A DECADE AHEAD 今の先鋭が10年後の当たり前を造る」を企業理念として掲げ、ディープラーニングなどを始めとする人工知能技術やWEBアプリケーション技術を基盤とした「AIクラウド&コンサルティングサービス」と、実業（リアル）を基盤とした「不動産サービス」を有機的に結合させた事業を展開してまいりました。「不動産サービス」は積極的に内部オペレーションにテクノロジーを取り入れ差別化と競争力強化を図る不動産テックの性格を帯びた事業となっており、「AIクラウド&コンサルティングサービス」はその内部オペレーションのテック化で培われた技術やソリューションを、同業他社や他産業に対してプロダクトとして外販していく事業となっております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、AIクラウドサービスにおける月額課金型サービス等が収益を下支えしたこともあり、売上高1,040,312千円、営業利益123,382千円（売上高販管費率40.4%）、経常利益125,110千円、親会社株主に帰属する四半期純利益61,542千円となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言発令の影響は、不動産仲介サービスなど一部のサービスにとどまっております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、当社グループの報告セグメントの区分は、前連結会計年度において、「『AI×リアル』ソリューション」事業の単一セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より、「AIクラウド&コンサルティング」事業及び「不動産」事業に変更しております。

#### <AIクラウド&コンサルティング事業>

クラウドサービス（不動産価格推定エンジンなどのディープラーニング技術を核とするパッケージ化されたAIを用いたクラウドサービス）の提供や不動産売買プラットフォーム「おうちダイレクト」を通じて、他の不動産仲介会社に向けた業務支援サービスの利用者数を順調に増やしてまいりました。

また、コンサルティングサービス（不動産仲介会社や金融機関をはじめとする各種業界におけるマーケティング活動、営業活動といった顧客企業の様々な経営課題に対して将来予測分析ツールを用いた解決策の提供又はシステム提供を行うサービス）の顧客を広く開拓してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間におけるAIクラウド&コンサルティング事業の売上高は195,980千円、営業利益は148,789千円となっております。

#### <不動産事業>

不動産仲介サービスとして、顧客満足度の追求とテック活用を推進するコンサルティングサービスを継続的に提供するとともに、スマートホームサービスとして、個人向け賃貸マンション「AIFLAT（アイフラット）」の開発及び投資家や富裕層向けの販売を進めてまいりました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策により不動産仲介サービスにおける対面営業を4～5月を中心に自粛していたこともあり、当第1四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は903,332千円、営業損失は9,251千円となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,038,872千円増加し、9,093,565千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より1,066,220千円増加し、8,074,811千円となりました。これは主にたな卸資産が1,652,453千円増加した一方、現金及び預金が398,580千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末より27,347千円減少し、1,018,754千円となりました。これは主に投資その他の資産が28,670千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ958,256千円増加し、1,921,998千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より304,512千円減少し、516,242千円となりました。これは主に未払法人税等が234,883千円、賞与引当金が48,581千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末より1,262,768千円増加し、1,405,755千円となりました。これは主に長期借入金が1,266,000千円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ80,615千円増加し、7,171,567千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が61,542千円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は78.7%となっております

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

詳細につきましては、本日(2020年7月30日)付で別途開示しております「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,182,384	2,783,803
売掛金	79,440	78,548
営業出資金	767,511	743,986
たな卸資産	2,677,685	4,330,138
その他	303,252	140,016
貸倒引当金	△1,682	△1,682
流動資産合計	7,008,590	8,074,811
固定資産		
有形固定資産	161,919	157,593
無形固定資産		
ソフトウェア	395,243	406,748
その他	78,805	72,949
無形固定資産合計	474,049	479,698
投資その他の資産	410,133	381,462
固定資産合計	1,046,102	1,018,754
資産合計	8,054,693	9,093,565
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,453	27,069
未払金	75,447	74,976
未払費用	154,810	124,411
未払法人税等	270,533	35,649
賞与引当金	93,909	45,328
その他	216,601	208,808
流動負債合計	820,754	516,242
固定負債		
長期借入金	—	1,266,000
その他	142,986	139,755
固定負債合計	142,986	1,405,755
負債合計	963,741	1,921,998
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,539,855	3,544,754
資本剰余金	3,539,855	3,544,754
利益剰余金	5,855	67,398
株主資本合計	7,085,565	7,156,906
新株予約権	5,386	14,660
純資産合計	7,090,951	7,171,567
負債純資産合計	8,054,693	9,093,565

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,040,312
売上原価	496,518
売上総利益	543,794
販売費及び一般管理費	420,412
営業利益	123,382
営業外収益	
持分法による投資利益	2,571
その他	5
営業外収益合計	2,576
営業外費用	
支払利息	520
その他	327
営業外費用合計	848
経常利益	125,110
税金等調整前四半期純利益	125,110
法人税、住民税及び事業税	31,606
法人税等調整額	31,960
法人税等合計	63,567
四半期純利益	61,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,542

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	61,542
四半期包括利益	61,542
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	61,542
非支配株主に係る四半期包括利益	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	AIクラウド&コ ンサルティング	不動産	計		
売上高					
外部顧客への売上高	136,980	903,332	1,040,312	—	1,040,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,000	—	59,000	△59,000	—
計	195,980	903,332	1,099,312	△59,000	1,040,312
セグメント利益又は損失 (△)	148,789	△9,251	139,538	△16,156	123,382

(注) 1. セグメント利益又は損失の「調整額」△16,156千円は、セグメント間取引消去を記載しております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度まで『AI×リアル』ソリューション事業の単一セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「AIクラウド&コンサルティング」及び「不動産」の2区分に変更しております。

これは主に、今後の事業戦略の実現に適した体制を検討した結果、上記2セグメントの組織体制構築が商品を開発する力とスピードを発揮する上で最適と判断し、当社グループの内部モニタリング単位を変更したことによるものであります。